

9/4 長寿を祝して

敬老祝い記念品の寄贈



9月4日(金)に、市内の肖像画家・益子学司氏と増村園芸(南金丸)の増村英樹氏が市内の高齢者への敬老祝い記念品の寄贈のために市長を訪問しました。

益子学司氏からは市内最高齢者の肖像画を、増村英樹氏からは100歳以上の高齢者へケイトウのミニ鉢植えを寄贈していただきました。寄贈いただいた記念品は、後日100歳以上の皆さまに市長や職員が訪問してお渡しし、大変よろこびいただきました。



金子ハツエさん



池田テルさん



矢村要一さん



星ハツノさん

私たちの思いを地域の支援に

シルバー大学校大田原市同窓会からの寄附

シルバー大学校大田原市同窓会より、新型コロナウイルス感染症の予防と拡大防止のための寄附がありました。この寄附金には、微力ながらも自分たちができるとあるという会員の思いが込められています。

今回の寄附金については、新型コロナウイルス対策基金に積み立て、新型コロナウイルス感染症の予防や対策などに活用させていただきます。

9/4



9/30 収穫の秋

佐良土小学校



佐良土小学校では、地域の方の協力のもと育った学校田の稲の収穫が行われました。農業ボランティアの方とともに、全校生が一株一株丁寧に鎌で刈り取りました。

例年収穫したお米や稲わらは、豊年棒作りに使用したり、お世話になった地域の方との交流給食に使用したりします。今年は新型コロナウイルス感染症予防対策のため、これらの行事は実施されませんが、学校給食でおいしくいただく予定です。

9/30

文化交流協定に続き災害時相互応援協定締結

白河市と災害時における相互応援に関する協定

福島県白河市と本市は「災害時における相互応援に関する協定」を締結しました。

白河市とは令和元年5月に文化交流協定を締結し、交流人口の増加を図りながら、文化振興と地域経済の発展につなげていくための取り組みを進めてきました。今後は、これまでに構築してきた協力体制を活用し、相互に人的・物的支援を行うことで災害時の応急復旧対策を円滑に遂行していきます。



生活物資の供給協力協定締結

株式会社ヨークベニマルとの災害時における生活物資の供給協力に関する協定

株式会社ヨークベニマルと本市は「災害時における生活物資の供給協力に関する協定」を締結しました。株式会社ヨークベニマルは福島県郡山市に本社を置き、東北・北関東5県にスーパーマーケットを展開する企業で、本市にも2店舗を出店し、市民の皆さまの豊かで便利な暮らしに貢献されてきました。今後、本市で大規模災害が発生した際には、株式会社ヨークベニマルの情報力・商品力を活かし、市民生活の早期の安定化を図っていきます。

9/30



10/1

ものづくり技術を生かして地域に貢献

足踏み式消毒液ポンプスタンド寄贈

野崎工業団地に工場がある自動車部品メーカーの京浜精密工業株式会社から新型コロナウイルス感染症予防の一環として、本市に足踏み式消毒液ポンプスタンドが寄贈されました。

当日は、石川清隆大田原工場長から津久井市長に寄贈され、ものづくり技術を生かして、市庁舎で市民の皆さまが利用しやすいようにと設計・製作いただき、部品の一部には3Dプリンターが活用されています。



D I スタジアム 美原公園陸上競技場

ネーミングライツ事業

10/6

ネーミングライツ事業(愛称を命名できる権利)により、美原公園陸上競技場の愛称が「D I スタジアム」となりました。

設置された銘板の前で命名権者の株式会社大一不動産、代表取締役の小板橋博幸氏との記念撮影を行いました。

命名にあたっては、施設を利用する方、特に子どもたちの「Dreams(夢)& Impressions(感動)」があふれるスタジアムへ、との願いが込められています。



市史編さんだより vol.3

自然部会では、大田原市民を取り巻く自然の現状を把握するとともに、自然環境がどのように変化してきたかを明らかにするため調査を行っています。

地形・地質の他、動植物については種子植物・シダ植物・鳥類・魚類・貝類・昆虫の6分類群を対象として調査を行うとともに、哺乳類・爬虫類・両生類など、その他の分類群についても、栃木県立博物館などと連携して調査を進めています。

また、黒羽高校ではスズメとの生存競争という視点からコシアカツバメの保護に取り組んでいます。自然部会では、このような市民の皆さまの活動や情報を集めておりますのでご協力ください。他にも、動植物や、湧水地などの地形・地質に関する情報がありましたら、下記までお知らせください。

調査によって、湧水地・河川・丘陵地帯・山地帯・市街地にみられる自然の特徴が明らかになることで、多くの方々に大田原市の自然の豊かさを改めて認識していただくとともに、本調査が環境学習や環境保全活動の基礎資料となることを願っています。

(自然部会長 刑部 節)

問 文化振興課 本 4階 TEL (23) 3135

自然部会調査速報①
～自然情報集めています～

コシアカツバメの巣から顔を出すスズメ



北金丸に見られる湧水地「頭無」と水辺の植物

おおたわら令和の名木選⑧

問 農林整備課 本 4階 TEL (23) 8813

今月で紹介する樹木は、芭蕉公園のイロハモミジ(前田)、御殿山公園のイロハモミジ(佐久山)の2本です。黒羽城址、芭蕉公園内の浄法寺邸跡地にひっそりとそのモミジはあります。木漏れ日に照らされ、見事に紅葉したモミジも見ごたえ充分ですが、落ち葉となって敷き詰められた赤い絨毯もまた一見の価値があります。深秋の空気に触れながら散策してはいかがでしょうか。

御殿山公園のモミジは別名「土佐楓」とも言われ、江戸時代にお殿様が、土佐藩(現在の高知県)から養子に入られた際、一緒にこの地へやってきたようです。日の光に照らされた日中の紅葉も見事ですが、秋の夜長にライトアップされた紅葉(11月10日㊥～25日㊥)もまた幻想的で、時を忘れて魅入ってしまうのではないのでしょうか。詳しい場所などについては、ホームページをご覧ください。



芭蕉公園のイロハモミジ



御殿山公園のイロハモミジ